



湘南わかばグループ健康ニュース No.201 2015年1・2月号

# わかば

特定医療法人  
社団若林会

湘南中央病院・湘南わかば苑・わかば訪問看護ステーション  
若林会居宅介護支援事業所・藤沢市明治いきいきサポートセンター  
(地域包括支援センター)

発行者/今井重信 編集責任者/村上克子  
〒251-0056 藤沢市羽鳥 1-3-43 Tel0466(36)8151 Fax0466(35)2886  
URL <http://www.swg.or.jp> E-mail [wakaba@swg.or.jp](mailto:wakaba@swg.or.jp)

## 【理 念】

地域の人々とともに歩み  
健康を守り良質な医療と介護を  
提供します。

## 【基本方針】

いつでも受けられる医療と介護  
地域に出る医療と介護  
包括的な医療と介護  
納得づくりの医療と介護



日本人の神々(163×130cm)

新制作協会 会員 田 澤 茂

# 本年、湘南中央病院は 創立 60 周年を迎えます！

21 世紀地域医療・介護の新展開を目指して！

湘南わかばグループ 理事長 今井 重信



湘南中央病院を中心とした私  
たち「湘南わかばグループ」は、  
1955（昭和30）年2月1日、  
創立者若林巖先生によって19床  
の「若林外科医院」として産声  
をあげました。

私がまだ医者でも医学生で  
もない田舎の高校生だった頃  
のことです。それから波乱に  
満ちた年月を経て、今年2月  
1日に創立60周年を迎えるこ  
とができます。

9年前、2006年2月1  
日現在の新病院開院記念誌に  
おいて、私はそれまでの50年  
近い当院の歴史を振り返って、  
次のような4つの時期区分の  
もとに、それぞれを特徴づけ  
いたしました。

1. 成長の時期（昭和 30 年～ 42 年）

2. 試練の時期（昭和 43 年～ 53 年）

3. 拡大の時期（昭和 54 年～ 63 年）

4. 展開の時期（平成元年～ 17 年）

各時期につき簡単にふれてみ  
ます。

## 1. 成長の時期

19床で発足した「若林外科医  
院」は昭和37年には65床の病院  
へ、その2年後医療法人となり  
始めて「湘南中央病院」に改称  
し、外科系地域病院の陣容を整  
えました。同じころ「相模原診  
療所」と「寒川外科診療所」を  
併設、さらに伊豆半島にリハビ  
リ病院の建設構想まであったと  
のことです。

## 2. 試練の時期

しかし昭和44年ごろより、院  
内の内紛が原因で湘南中央病院  
は一時存亡の危機に陥ります。  
創業以来蓄積された成果のほと  
んどが失われました。

昭和46年から私は縁あって  
パート医師として整形外科医療  
を担当するようになりました  
が、若林先生ご夫妻の獅子奮迅  
の活躍と地域のみなさんの温か  
いご支援により、やっこのこと  
で病院は危機を脱し昭和54年か  
らの再建に向かったのです。

## 3. 拡大の時期

昭和54年、51床の病院を新装  
オープンしました。この時から  
以後、線路際の辻堂新町地区で  
の病院の拡大に取り組みます。  
まず病院の基本方針として4  
つの医療目標を掲げました。  
「いつでもかかれる医療」、「地  
域に出る医療」、「納得すくので  
医療」、「そして「患者自らが治す  
医療」です。

いまでは在宅医療とかイン  
フォームドコンセントとかと普  
通になっていますが、35年以上  
前の医療状況としては先進的  
だったかなと自負しています。  
また最近200号を迎えた「健康  
ニクスわかば」を創刊したの  
も、翌年の昭和55年でした。

しかしこの「時期」における  
最大の成果は、医療法人若林会  
が「特定医療法人」の認可を受  
けたことでした。

それは法人財産のすべてを  
「寄付行為」とし個人的取り分  
を排除することにより成立す  
る、「準公的」な医療法人化で  
した。定款には、法人解散時に  
はその所有財産は藤沢市に帰属  
すると明記されています。この  
ことにより医療法人若林会は、

法人税の若干の軽減と「相続概  
念」がなくなることにより、將  
来に向けての病院としての継続  
性が担保されたのです。

この時期に湘南中央病院は  
二回の増築改築を経て、東西  
両病棟を有する102床の内科系・  
外科系併設の総合的病院とな  
りました。また在宅訪問看護・  
訪問リハビリや、市民健診・  
人間ドック、人工透析、鍼灸  
治療を開始するとともに、全  
身CT、血管造影装置、マン  
モグラフィ導入、手術室複  
数化等も進めました。

## 4. 展開の時期

平成時代に入るとこの時期の特  
徴は、少子高齢化時代を迎える  
21世紀に向けて、国の社会保障  
制度が新たな展開を見せ始めた  
ことにあります。

平成12年には新たに介護保険  
制度がスタートしました。また  
現在では明確化された「病院機能  
分化」や「地域包括ケアシステ  
ム」等も、萌芽的には学者や識  
者レベルにおいて取り沙汰され  
始めていました。

私たちのこの時期も、21世紀  
における病院のあり方や医療法

人の進み方を意識した展開の時期であったと振り返ることができ、大きく分けて四つの事業展開を果たしてきました。

それは「基準看護認可の取得」、「在宅三部門の設置」、「湘南わかば苑の開設」、そして「現在の新病院の開院」でした。

平成元年から足かけ3年間をかけて、それまで基準看護体制の全くなかった状態から、当時の最高の看護体制である基準看護特三類に駆け上がり、これにより以後病院としての必須条件となる「基準看護」取得病院となったのです。

平成6年「わかば訪問看護ステーション」と「若林会在宅介護支援センター」※（平成18年より藤沢市明治いきいきセンター）を設置し、平成12年の介護保険制度発足とともに開設した「若林会居宅介護支援事業所」と合わせて、当法人の「在宅三部門」が勢揃いしました。なお現在では平成25年にスタートした湘南中央病院「在宅診療部」が加わり四部門となっております。

平成12年12月には、藤沢市石川地区に老人保健施設「湘南わかば苑」を100床で開設しました。

これは介護保険の目玉施設で、リハビリを主体に極力在宅復帰を目指して、デイケアも一日20人の枠で実施しています。開設15年を迎え設備や機器も老朽化してきましたので、この3年かけてリニューアルを進めているところで、

この時期の最大のプロジェクトは現在の羽鳥地区での新病院建設でした。オープンは平成18年2月でしたが平成14年から実に足かけ5年の準備期間を要しました。「21世紀型病院」の建設が唯一最大のスローガンでしたが、それには二つの意味を込めました。一つは旧病院では持ち得なかった「病院としての必要要件の実現」であり、もう一つは「少子高齢社会に求められる病院機能の獲得」でした。

前者のために私は7つの目標を掲げました。すなわち「ゆとり」「安心」「眺望」「利便性」「プライバシー」「多機能」「働きやすさ」です。それらは100%とは言えないにしろ、かなり実現できたと思います。

とくに「安心」のため地下に免震構造を入れたことは、今でも評価されています。

また後者に関しては現在の地域包括ケアや病院機能分化と同じベクトルですが、急性期病棟とともにポスト急性期やターミナルケアにも対応すべく四種類の病棟編成としました。すなわち「急性期病棟（2病棟）」、「療養病棟」、「回復期リハビリ病棟」および「緩和ケア病棟」です。

この選択は10年後の現時点に近づくに従って、その先見性が明らかになりつつあります。さて平成18年の新病院開設時に私たちは新たな基本理念と基本方針を掲げました。

**【基本理念】**  
 地域の人々とともに歩み、健康を守り良質な医療と介護を提供します

**【基本方針】**  
 いつでも受けられる医療と介護、  
 地域に出る医療と介護、  
 包括的な医療と介護、  
 納得ずくの医療と介護

そのうえで平成18年から今日及び将来をどのような「時期」ととらえるか、いろいろ思案しましたが結局、「連携」の二文字が最もふさわしいと思いました。

5. 連携の時期（平成18年〜）

連携には二つの意味があります。一つは私たちのグループが医療介護施設であることから「施設間連携」です。そしてもう一つは地域住民・組織と私たちグループとの「地域住民連携」です。

前者の「施設間連携」は湘南中央病院の「地域医療連携室」を通じての高度急性期病院や地域診療所との患者さん相互紹介、また20以上ある嘱託施設・協力施設・産業施設からの医療相談やそれへの対応、消防署を介しての救急対応など活発に行ってきました。

次に後者の「地域住民連携」については、私たちは数十年前から地域住民組織との交流や地域イベントへの参加、また地域各所での「健康フェスティバル」の開催等を毎年行ってきました。その意味では決して新しい動きではありません。ただ今

後に向けて「地域連携」の院内組織体制を最近整備しました。平成26年度より病院内に「地域活動推進室」を開設、よりスムーズに、そしてより組織的に「地域住民連携」を進めることを目指しています。

最近「地域包括ケア」に係わるより戦略的事業として、病棟の「ポスト急性期機能」の拡大と法人全体の「リハビリ機能」のアップに取り組んでいます。平成26年10月、5階急性期病棟を「地域包括ケア病棟」に転換しました。高度急性期病院からのポスト急性期患者の受け入れと、地域診療所在宅患者の急変に対応するためのベッド機能です。

また同時期に3階回復期リハビリ病棟の入院機能をアップしました。さらに湘南わかば苑のリハビリ担当者もOT・PT・ST全職種5名を揃え、訪問リハビリも拡大しています。

最後に創立60周年を期に、21世紀に対応できる湘南わかばグループを目指しますので、今後ともご支援よろしくお願ひします。


## 禁煙外来

「お医者さんと禁煙しよう」といったテレビCMもあり、禁煙外来のことをご存じの方も多いと思います。

2005年、日本の9医学会による禁煙ガイドラインが発表され、喫煙が「喫煙病（依存症＋喫煙関連疾患）」という全身疾患であり、喫煙者は「積極的治療を必要とする患者」という認識がされるようになりました。

2006年よりニコチン依存症の治療が一定の要件を満たした場合に保険適用となり、禁煙補助薬が処方できるようになりました。


### ◆禁煙治療とは？



# 禁煙外来

のご案内

## 病院で禁煙しましょう！



健康管理センター 医師 小川 英幸

### 診療の主な流れ

問診・診療	① 保険診療のための条件確認 ② 既往歴の確認 ③ 禁煙治療の説明と同意
1回目	① 呼気一酸化炭素濃度測定 ② 喫煙状況などの確認 ③ 禁煙開始にあたっての問題点明確化と対処法検討 ④ 禁煙補助薬の処方と服薬指導 ⑤ 日常生活上のアドバイス ⑥ 次回外来日の決定
2回目～5回目	2週間後 ① 呼気一酸化炭素濃度測定と禁煙状況の確認 4週間後 ② 禁煙継続にあたっての問題点明確化と対処法検討 6週間後 ③ 禁煙補助薬の継続処方 8週間後 ④ 次回外来日の決定 など 12週間後

次に示す合計5回の通院が必要です。

### ◆保険診療の日程とは？

- A. タバコ依存スクリーニングテスト (TDS) にて5点以上
- B. プリンクマン指数 (一日喫煙本数×喫煙年数) が200以上
- C. ただちに禁煙することを希望している
- D. 治療プログラムについて説明を受け、該当治療を受けることについて文書で同意
- E. 前回の禁煙治療 (治療開始日) から1年を過ぎている

次の要件をすべて満たす方のみ保険適用になります。

### ◆厚生労働省が定める保険適用の基準とは？

診察料など

目安↓3か月で2万～3万円

(3割負担として)

6千円～1万円

※医療機関の種類や診療回数によつて差が出ます

薬剤費

目安↓3か月で2万円

～3万7千円

(3割負担として)

6千円～1万2千円

※禁煙補助薬の種類や使用期間によつて差が出ます

### ◆保険診療にかかる費用は？

### ◆禁煙補助薬の種類と特徴

種類	ニコチネルTTS (ニコチンパッチ)	チャンピックス錠 (内服薬)
使用法	禁煙開始日から使用開始	禁煙開始日の1週間前から使用開始
標準的使用スケジュール	大 4週間 中 2週間 小 2週間	0.5mg錠 1錠 1日1回 3日間 0.5mg錠 1錠 1日2回 4日間 1mg錠 1錠 1日2回 11週間
避ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>この薬の過敏症</li> <li>妊婦・授乳婦</li> <li>不安定狭心症、心筋梗塞急性期、重篤な不整脈、冠動脈血行再建直後</li> <li>脳卒中回復初期</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この薬の過敏症</li> <li>自動車の運転</li> <li>危険を伴う機械の操作</li> </ul>
主な副作用	かぶれ／不眠	吐き気、便秘、お腹の張り、頭痛、不眠、眠気、めまい
まれな重い副作用	強いアレルギー／ニコチン過量症状	強いアレルギー／肝機能障害／意識障害



外来受診時には日常生活上のアドバイスも行っていきます。以前、禁煙を試みてうまくいかなかった方も、何度目かには成功しますので、諦めることなく挑戦していただきたいと思います。

禁煙外来のお問い合わせは、健康管理センターまで ☎ 0466-36-8155

※お問い合わせ時間 ① 10:00～16:30 (月・火・木・金) ② 10:00～12:00 (水・土)

「食事中にむせることが増えた」「口の中が渇く」「口角（唇の両端）が下がり表情が老けた」「食事の時、舌を嚙んだり、頬の内側を嚙んだりすることが多くなった」…こんな経験はありませんか？これらは、口腔機能が低下したことによるものかも知れません。

また、高齢者に多い「誤嚥（ごえん）性肺炎」は、食べかすなどから繁殖した口の中の細菌を、知らないうちに気道から肺へ流れ込んでしまうことにより起こる肺炎です。※肺炎は日本人の死因の第3位です。  
年を重ねると食べ物がかみにくくなったり、飲み込む力が弱くなったりします。元気で楽しい生活を続けるために、口の手入れと口腔の体操を習慣にしたいですね。  
□や頬を動かすと、唾液の出口がよくなり、飲み込みやすくなり、食べやすくなります。食事の前の、「嚥下（えんげ）体操」をお勧めします！

ワンポイント・クリニック

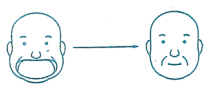
口腔（こうくう）機能を高めましょう！

その②  
《嚥下体操～首・顔・口・舌～》

地域活動推進課 保健師 佐々木奈々子


その①  
《首・顔・口・舌の体操》

【あごの運動】



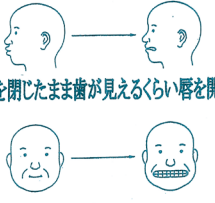
口を大きく開け、パッとすぐに閉じる

【頬の運動】



唇を閉じて、頬を膨らませる → へこませる

【唇の運動】



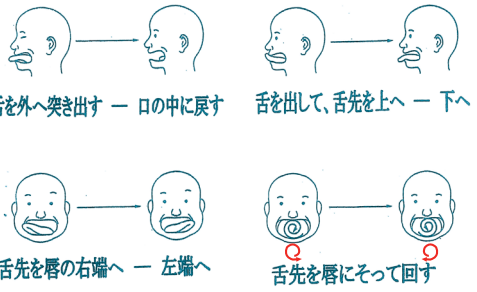
唇を閉じたまま歯が見えるくらい唇を開く  
唇を突き出す(う)、横に引く(い)

【深呼吸】



胸を広げる様に、大きく息を吸って口から吐く  
★首・肩周囲がリラックスするように (3～5回)

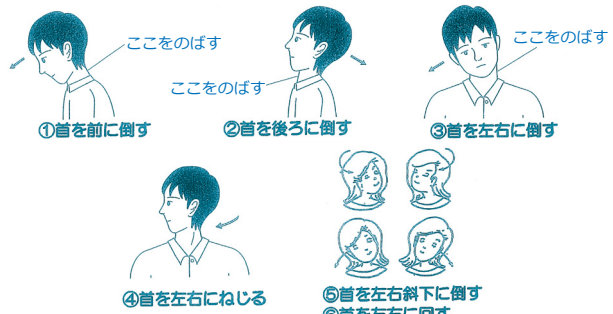
【舌の運動】



舌を外へ突き出す → 口の中に戻す  
舌を出して、舌先を上へ → 下へ  
舌先を唇の右端へ → 左端へ  
舌先を唇にそって回す

資料提供…湘南中央病院  
言語リハビリ室

【首のストレッチ】



ここをのぼす  
①首を前に倒す ②首を後ろに倒す ③首を左右に倒す  
④首を左右にねじる ⑤首を左右斜下に倒す ⑥首を左右に回す

サクサク揚げアップルパイ



本多栄養士 おすすめ健康レシピ



《材料 2人前》

420kcal

材料

餃子の皮 (大判)	・ ・ 10 枚	レモン汁	・ ・ ・ ・ 少々
りんご (小)	・ ・ ・ ・ 1 個	シナモン	・ ・ ・ ・ お好みで
砂糖	・ ・ ・ ・ 10 g	揚げ油	
バター	・ ・ ・ ・ 10 g		

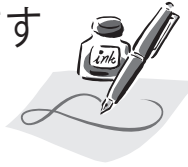
- ① りんごはいちょう切りにする。
- ② 鍋に①、砂糖、レモン汁、バターを入れてから弱火でりんごが柔らかくなるまで煮る。(お好みでシナモンを入れる)
- ③ ②が冷めたら、餃子の皮のまわりに水をつけながら、りんごの甘煮を包む。
- ④ 170度の油で揚げ、きつね色になったら出来上がり。

☆りんごはカリウムが豊富なことも特徴の一つです。カリウムは、体内の不要なナトリウムを排泄する働きがあり、これが高血圧予防につながります。また、りんごに含まれるペクチンは血中のコレステロール増加防止に働きますから、動脈硬化の予防にもなります。



あけまして  
おめでとうございます

■ 葉山 淳子



新しい年が、皆様にとり明るく  
穏やかな年でありますように

昨年11月23日調布市の文化会館 たづくり 1階において日本初の女性報道カメラマン、「笹本恒子100歳展」なるものが開かれた。数か月前偶然にもテレビにおいてその女性の活動を目にした。小柄できゃしゃな身体つき、優しい笑顔そして何よりも凛としたたたずまい、手に一眼レフを持つ姿を想像するには時間はいらなかった。写真展覧会と共にご本人のトークショーがあるという。

それは聞いてみたいと思った。私ごとではあるが、調布市の文化・振興財団には姪の娘が奉職している。さっそく電話して申込み方法を尋ね、友人と申し込んだ。

もともとカメラが大好きだった私は子供のころから「写真」なるものにとっても興味があり、医者をしていた母の仕事であるレントゲン現像を父と自宅研究所の暗室で教えてもらった。当然今は忘れていたけれど・・・鼻をツンと突くような現像液のにおいが懐かしい。

平塚らいてふさんの後任としてある婦人団体の会長を引き受けた母は、原水爆

禁止運動に没頭し世界大会にも参加していた。その時にかばん持ちをさせられていた私は「報道」という腕章をもらいカメラをぶらさげて会場に入っていた。

中学生だった私は夏の暑い時に何故か国際会議なるものに随行していたわけだ。のんきな時代だったのかなあ。当時「サモカ」というカメラだったと記憶するが、買い与えてくれてやたらシャッターを切りまくっていた。報道カメラマンは私にとって憧れの職業だったが「職業婦人」なるものを持つ母親を見ていると、フツのオヨメサンにあこがれるのか職業婦人は目指さなかったけれど。

笹本さんの講演はそれはそれはびっくりした。100歳とは思えない肌つや、足の運びで若い男性にエスコートされ入場された。プロジェクターで写真説明をされ、会場内からの質問にも的確に応えられたことには驚嘆した。

東京日日新聞（現在の毎日新聞）を皮切りにアルバイトで報道の写真を撮り始めたという経歴の持ち主。

職業婦人のハシリであり、母親も同じ時代を生きただなあとちょっぴりセンチメンタルな感慨にふけた一日だった。

もうひとつ、藤沢において今「藤沢にゆかりのある音楽家たち」というコンサートが3回シリーズで開かれている。1回目が昨年10月25日カルテット、2回目が12月7日の昼間、藤沢が誇るチェロの巨匠堤剛ソロコンサートだった。

ソロでチェロコンサートを聴いたのは初めてだったが五臓六腑にしみわたるような音色、柔らかな人柄がそのまま弦にのって出てきた旋律だった。湘南台のホールは決して音響が良いわけではない。多目的ホールであり音楽ホールではないのだから。でも涙が出るほど感激した。前の方の席だったので食い入るようにみつめながら聴いた。アンコール曲、サンサーンスの「白鳥」に至っては聴きながら全身とりはだかだった。素晴らしいチェロ演奏を堪能させてもらった。

ちなみに第3回は2月21日チェロアンサンブルの予定である。藤沢にゆかりのある素晴らしい音楽家が大勢おられたことを再認識した一日となった。

ガサツな生き方をしている私に、そろそろ文化的な目も養ったら？！！と言われたような出来事二つだった。

そうだ！今年はブンカテキ教養を高めよう！もう、遅いか・・・・・・・・

地域医療連携室

患者・家族相談室のご紹介

地域医療連携室／患者・家族相談室 主任 内田 美帆

地域医療連携室／患者・家族相談室は、平成18年2月1日の新病院オープンとともに開設されました。現在のスタッフは7名で、看護師2名、医療ソーシャルワーカー（MSW）4名、事務員1名です。当院は、緩和ケア病棟・療養病棟・地域包括ケア病棟・急性期病棟・回復期リハビリテーション病棟と、役割の異なる病棟で構成されています。

それぞれの病棟に担当のMSWがおり、患者さんからのご相談に対応しています。

また、回復期リハビリテーション病棟には専従のMSWが、地域包括ケア病棟には専任のMSWがおり、入院時からトータル的にご支援させていただいております。

そして、退院に向けて療養先の選定や、在宅環境の調整、医療系サービスの調整などを行い、安心してご退院いただける様に退院調整を行っております。



◆地域医療連携室

患者・家族相談室の役割

主な役割は、大きく2つに分けられます。

1つ目は、福祉に関する相談や医療に関する相談を受け、患者さん・ご家族のお話をお伺いするなかで解決の方向を一緒に探って行くことです。

療養全般についてのご相談や、入院や退院についてのご相談、病気やケガによる心理的社会的な不安や悩み、経済的な問題などについて、必要

に応じた福祉制度や社会資源のご案内をしています。

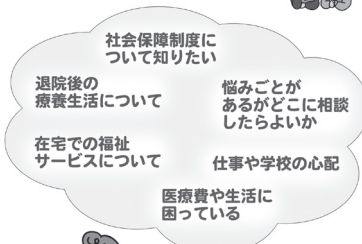
2つ目の役割は、他の病院や診療所との病々連携・病診連携、近隣の施設や在宅支援をしている方々との連携を図ることです。

地域医療連携室は、各病棟への入院の窓口となるため、他の病院や診療所からの入院・転院のご相談があります。

また、当院にはない診療科や検査などが患者さんに必要な場合は、それぞれの病気やけがの状況に応じて他の病院などを紹介させていただきます。

他にも、施設入所中に体調を崩された方や、在宅療養中に病状が悪化した方などの入院相談もお受けしております。

病気や入院などについて  
疑問・不安はありませんか



地域医療連携室／患者・家族相談室は、これからも患者さん・ご家族さまの相談の窓口として、誠実に対応してまいります。

不安や疑問・悩みごとがある際は、地域医療連携室／患者・家族相談室をお尋ねください。看護師もおりますので、病気のこと、在宅医療のことで不安がありましたら、ご相談ください。

<ご案内>

ご利用時間：月～金曜日 9：00～16：30 土曜日 9：00～12：00

Tel 0466 (36) 8814 (直通) FAX 0466 (35) 1810

※安心してご相談ができるよう、事前に連絡のうえお越しください

湘南中央病院 2階ラウンジ前 地域医療連携室／患者・家族相談室

地域の病院・診療所や近隣の施設・在宅支援事業所などと連携を図り、患者さんが適切な必要な医療を、住み慣れた地域で受けることができるよう、支援していききたいと思います。

投書箱から

シャトルバスの運行につきまして、患者さんほか病院の利用者さんの利便性の向上を目的に運営しておりますが、サービス面より一層の充実を目指し、平成25年10月より外部に委託して運行しております。



ドライバーさんに対しては、病院からの依頼事項と併せ、委託先業者さんの社内教育の充実もあって、お褒めの言葉をいただきます。今回は、「病気で気持ちが落ち込んでいる時に、患者さんを気遣った温かい言葉づかいで心温まる」という内容でした。

今後も利用者さん一人一人がこういう気持ちを持っていただけるよう一層の努力をして参りたいと考えております。お気づきの点がございましたら、遠慮なくお声をお聞かせいただければと思います。ありがとうございました。

事務部長 伊藤 稔

◆ 1月の外来診療担当表 ◆

一般外来

2015. 1. 1 現在

	午前 午後	月	火	水	木	金	土
内科	午前	村川 一般	岡田 一般 循環器	岡田 一般 循環器	岡 一般	村川 一般	新城 第1・3・5 岡 第2・4
		渡戸 一般	渡戸 一般	新城 一般	永淵 一般	永淵 一般	永淵 第1・3・5 岡田 第2・4
				相澤 (予約)	相澤 (予約)	相澤 第2 (予約)	
	午後	岡田 一般 循環器	永淵 一般		新城 一般	奥脇(裕) 一般 肝臓	
		岡 一般			相澤 (予約)		
消化器科	午前	田中(耕) (予約)		辻	田中(耕) (予約)		
外科	午前	呉	池田(清)	呉	長田	松崎	松崎
	午後	松崎	長田		呉	池田(清)	
整形外科	午前	池田(全)	今井	田中(真)	今井	田中(真)	池田(全)
		木下	田中(真)	池田(全)	芹ヶ野	木下	芹ヶ野
	午後	芹ヶ野	木下		池田(全)	今井	
泌尿器科	午前	多田	多田	多田	多田	多田	多田 (逢坂)
	午後		多田				

※休診日：日曜、祭日、水曜午後、土曜午後

専門外来

	午前 午後	月	火	水	木	金	土
内分泌 (糖尿科)	午前 午後		酒井(午前) 予約		酒井(午後) 予約		酒井(午前) 予約(第3,4)
ペイン クリニック	午後	奥野 予約					
胸部 化学療法 外来	午前		長田 予約				
胸部外科	午後					長田 予約	
乳腺甲狀	午前			○			
皮膚科	午前			露木			
心療内科	午前		菌部 予約		三吉 予約		
神経内科	午前 午後					松川 予約	
リウマチ科	午前						永淵(索) 予約
禁煙外来	午後	小川 予約	小川 予約		小川 予約	小川 予約	小川 予約(応相談)
緩和 ケア科	午後		片町 予約	片町 予約	片町 予約		

(専門外来は予約が必要です。詳しくは総合受付でお尋ね下さい。)

**一緒に働く！ 仲間を募集しています**

**現在募集中の職種**

◆ 湘南中央病院

- 看護師 (常勤 / パート)
- 病棟ヘルパー (常勤 / パート)
- 医療事務 (常勤)

◆ 湘南わかば苑

- 看護師 / 准看護師 (常勤 / パート)
- 送迎運転手 (非常勤)

※詳細は職員へお声をおかけください。  
↑上記の内容を掲示しています

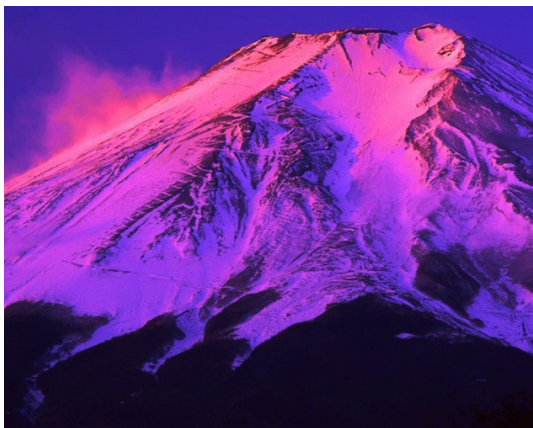
求人のお問い合わせは、  
事務部 人事・広報課まで  
求人 URL : <http://www.swg.or.jp/recruit/index.html>

2014.12.21現在

求人案内 QRコード

湘南中央病院  
今月のギャラリー (2015年1~2月)

有道敏明 『富士山』 写真展



富士山に魅せられて、富士を主体にした風景写真を中判カメラで撮り続けて20年。昨年、喜寿を迎えました。所属する日本写真家連盟の「四季の彩り」写真展作品と日本大判写真展の公募展入選作品を展示しました。ご高覧ください。

連絡先 〒251-0057 藤沢市城南2-4-14 有道敏明  
TEL/FAX 0466-36-2070  
E-mail arimichi@alto.ocn.ne.jp

編／集／後／記

去る11月24日、『わかば』表紙絵を担当して下さっていた田澤茂様が、89歳で他界されました。斎藤公平様の後を受け、2007年7月16号より、欠かさず、絵と表紙の言葉を届けてくださいました。

この間、富士山や風神雷神、ヨーロッパの風景や日本の昔話や民話の世界、お地蔵さんに子ども、良寛さんなど、実に多様な世界を見せていただき、また表紙の言葉で多くことを教えていただきました。

今号の絵は、2014年夏の新作展に出展された100号の大作です。「絵は偶然と瞬間にできあがることがある。画家は描きながらそれを待つのです」、163号によせられた言葉です。

もっともっとと長生きをして描き続けて欲しかった、ご冥福をお祈りいたします。  
(北村 充成)